

対象器種	FHT-54300-PD9 (調光用) FHT-54301-PD9 (調光用)
適合ランプ	東芝蛍光ランプ<Hiユーライン>45ワット形

このたびは東芝蛍光灯器具をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

この器具は電子安定器を採用しておりますので、電源周波数に関係なくご使用できます。

・素人工事は法律で禁じられております。

■安全上のご注意

商品及び取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

・工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

工事店様へ

施工上のご注意

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 器具の取り付けは、質量の耐える所に取扱説明書に従って行なってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災等の原因となります。

❗ 取り付け



電源線接続

- アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行なってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。

⚠ アース工事



- 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災等の原因となります。

改造



この器具の送りは、20Aまでです。尚、送り配線は、照明器具専用です。越えて使用されますと、感電、発熱、火災の原因となります。

❗ 送り

⚠ 注意

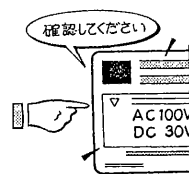
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- この器具は屋内専用で、5℃～35℃の範囲で使用するよう設計してあります。高温で使用しますと火災の原因となります。屋外や湿気、水気のある場所で使用しますと、湿気の侵入による絶縁不良、感電の原因となります。



湿度屋外

- 器具に表示された電源電圧(定格電圧±6%以内)以外の電圧でご使用しないでください。間違って使用しますとランプ、安定器などの短寿命、火災の原因となります。(器具の定格電圧と電源電圧は器具を取り付ける前に必ず確認してください。)



電源電圧

・お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

お客様へ

使用上のご注意

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

❗ 電源を切って

- ランプや器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすい物を近づけたりしないでください。火災の原因となります。

可燃物

- ランプの端部が黒ずんだり、暗くなった時は、早めに交換してください。ランプ交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書通りの種類・ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。間違った種類・ワット(W)数のランプを使用した場合は、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。



適合ランプ

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 点灯中および消灯直後はランプや器具が高温となっていますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。

ランプ高温

- 器具を水洗いしないでください。感電、故障の原因となります。

水洗い

- 器具を清掃する際は、ソケット等の樹脂部には、水、洗剤、薬品などは使用しないでください。部品の劣化や感電の原因となります。

ソケット

- 器具を洗剤、薬品などで拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。器具の破損、落下、感電の原因となります。

薬品類
洗剤・薬品

- 金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり腐食の原因となります。

金属部分



- 器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で湿したやわらかい布をよく絞ってからふいてください。
- ランプを清掃する際はランプを器具から外して乾いた布で拭いてください。

ランプ
器具清掃

- この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、環境により異なりますが約10年です。定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。

寿命

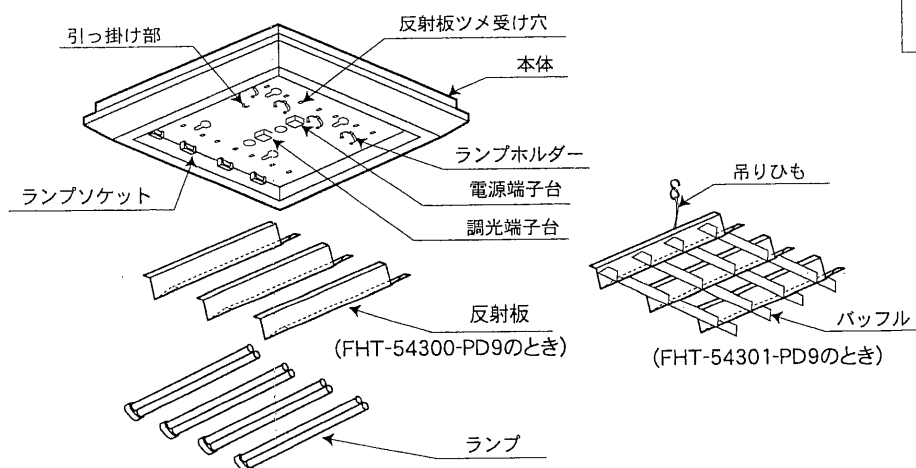
⚠ お願い

ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。間引き点灯の場合は、分岐回路をもうけ、そのスイッチで消灯してください。

■各部のなまえ

器具質量

FHT-54300-PD9	8.5kg
FHT-54301-PD9	8.8kg



■調光制御装置の施工上の注意

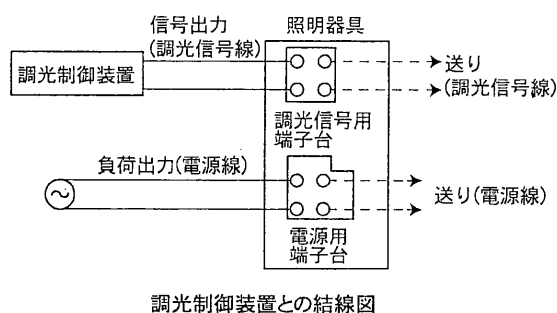
下記の調光制御装置をご使用して調光をおこなうことができます。
調光制御装置と組み合わせてご使用になる場合は次の点にご注意ください。

I . SESLをご使用の場合

- ①SESLは必ず下記に示す適合電圧の製品をご使用ください。
 - ・あかりセンサータイプ
DF-20203MXD1(100V用)、DF-20203MXD2(200V用)、DF-20204MXD7(100V,200V,242V共用)
 - ・あかり+人感センサータイプ
DF-20203MZD1(100V用)、DF-20203MZD2(200V用)、DF-20204MZD7(100V,200V,242V共用)
 - ・パネルタイプ
DF-20301-PD7(100V,200V,242V共用)
- ②「電源線(2線)、調光線(2線)」が必要になります。
- ③電源線は、SESL用と器具用の2系統必要となります。

II . コントルクス(FLコントルクスPD)をご使用の場合

- ①FLコントルクスPDは必ず下記に示す適合電圧の製品をご使用ください。
 - ・DF-70160-PD(100V,200V,242V共用)
- ②その他のコントルクスとは適合しません。
- ③「電源線(2線)、調光線(2線)」が必要になります。
- ④コントルクスと照明器具との総配線長は100m以下(コントルクスと器具間は50m以下)としてください。
 - ・その他SESL、コントルクスの施工上の注意についてはそれぞれの個別のサービス図面または、取扱説明書をお読みください。
 - ・器具への結線の際、電源用と調光信号用の端子台を間違わないよう接続してください。
「誤結線しますと安定器が壊れます。」

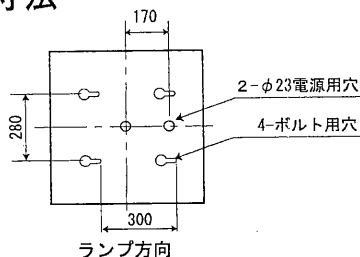


調光制御装置との結線図

器具の取り付けかた

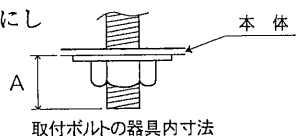
1 器具の取付寸法

(単位mm)



2 器具の取り付け準備

- ① 器具重量に十分耐えるようボルトの強度を確保してください。
- ② A寸法は20mmを越えないようにしてください。



取付ボルトの器具内寸法

3 器具本体の取付

- ① 電源線、アース線を端子台に確実に差し込んでください。リリースする場合は、必ずリリースボタンをドラーバーで押し込んで線を引き抜いてください。

⚠ 不完全な場合とリリースボタン以外を押した場合は、接続不良による発熱、火災、感電の原因となります。

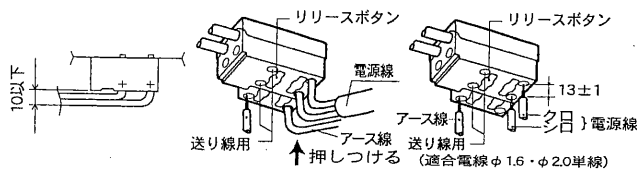
- ② 本体を取付ボルトで確実に取り付けてください。(取付ボルトはW3/8またはM10を使用し座金を必ず入れてください。)

⚠ 不備がありますと器具落下の原因となります。

- ③ Fケーブルの劣化を防ぐため、Fケーブルのシースを100mm以上皮むきをし、必ず電源線に付属のチューブをはめ込んでください。電源線、アース線を端子台に確実に差し込んでください。

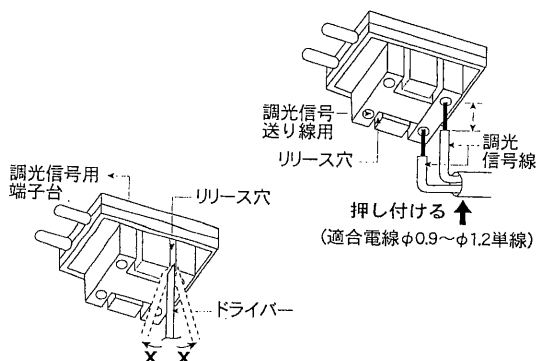
⚠ 不完全な場合は、絶縁劣化や接続不良による発熱、火災、感電の原因となります。

反射板との当たりを防ぐため、チューブをはめ込んだ電源線を、端子台に押しつけ10mm以上凸にならないように接続してください。



- ④ 調光信号用端子台に調光信号線を差し込んでください。調光信号線はφ0.9、φ1.2の軟銅単線(CPEV)または警報用電線、AE線(OP線など)をご使用ください。

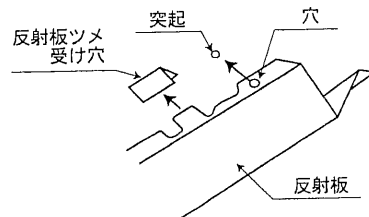
(注) ドライバーは端子台に垂直に押し込んでください。押し込み後、ドライバーを強く傾けると端子台が破損する場合があります。



⑤ FHT-54300-PN9の場合

- (1) 反射板をすばめて本体のツメ受け穴に挿入し、取り付けてください。

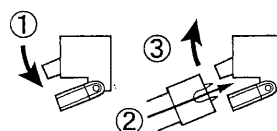
図のように本体の突起が反射板の穴にはいつていることを確認してください。



⚠ 不備がありますと反射板落下の原因となります。

- (2) ランプソケットの可動部を下げて、ランプを斜めに挿入し、ランプを押し上げてランプソケットに確実に取り付けてください。ランプをランプホルダーに、確実に差し込んでください。ランプを取り外す場合には、取り付けかたの逆の順序で行ってください。

⚠ 不備がありますとランプ落下の原因となります



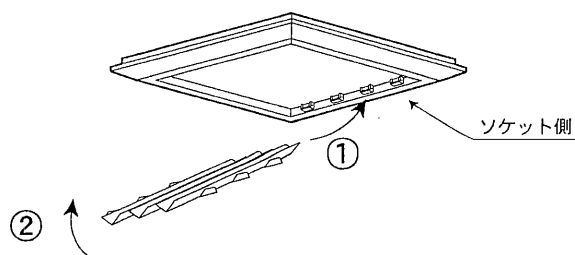
- ① ランプソケットの可動部を下げてください。
- ② ランプを挿入してください。
- ③ ランプを押し上げて取り付けてください。

⑥ FHT-54301-PD9 (バッフル器具) の場合

- (1) ⑤-(2)と同様にランプを確実に取り付けてください。

- (2) 吊りひも先端の金具を本体の取付ボルト穴近傍の引っ掛け部に引っ掛けてください。金具は、はずれないようにベンチなどで曲げてください。

- (3) バッフルをソケット側から本体に合わせ、本体の反射板ツメ受け穴にバッフルのツメ4点を挿入して取り付けてください。その際、吊りひもが外に出ないように注意してください。



⚠ 不備がありますと、バッフル落下の原因となります。

保証について

- 保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。
但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器(インバータバラスト含む)については3年間です。
- ランプ、点灯管、電池などの消耗品やセード、リモコン送信機は対象外です。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

- ご転居されたり、贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝家電修理ご相談センター』0120-1048-41

- 新製品などの商品選び、お取扱い・お手入れ方法などのご相談

『東芝家電ご相談センター』0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は (03) 3426-1048(有料)

*フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。



修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあげの販売店(工事店) またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。

なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

東芝ライテック株式会社 電材照明社 〒140-8660東京都品川区南品川2-2-13(南品川JNビル) TEL (03) 5463-8768 FAX (03) 5463-8824

保

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

＜生産完了 2005年11月13日＞
FHT-54300-PD9 (4 / 4)